

専 門 教 養
令和 8 年 7 月
60分

受 験 教 科 等
高 等 学 校 商 業

注 意

- 1 指示があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 2 全て係員の指示に従って、静粛に受験してください。
- 3 机上には、受験票、筆記用具、時計以外のものを出してはいけません。
- 4 他の受験者の迷惑になるような行為、スマートフォン、スマートウォッチ等の電子機器の使用及び不正行為をしてはいけません。
- 5 解答時間は60分です。途中退出はできません。
- 6 問題冊子のページ数は、18ページです。はじめにページ数を確認してください。
- 7 解答用紙に、**必要事項が正しく記入・マークされていない場合には、解答は全て無効**となります。解答用紙の【1】の欄には、**受験番号**を記入し、**受験番号に対応する数字をマーク**してください。【2】の欄には、**氏名**を記入してください。ただし、【3】の選択問題を表す欄のマークは不要です。
- 8 問題冊子の余白等は、適宜使用しても構いませんが、どのページも切り離してはいけません。
- 9 問題文中の「学習指導要領」は、特に指示がある場合を除いて、平成29年、平成30年又は平成31年告示の「学習指導要領」を表しています。
- 10 問題の内容についての質問には一切応じません。

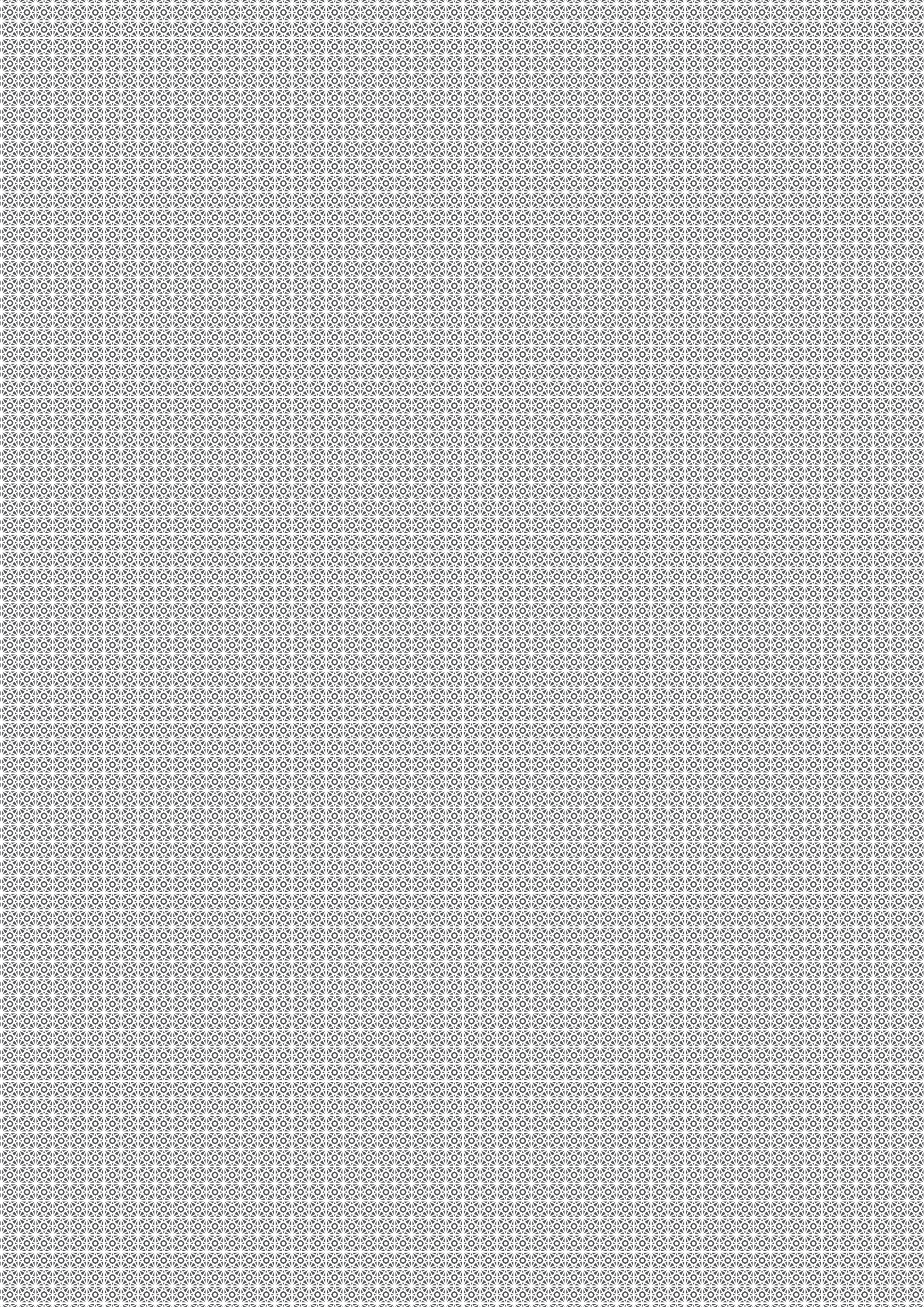
解答上の注意

- 1 解答は、問題文や解答用紙の注意事項に従って、解答欄にマークしてください。各問に対して、正答は一つだけです。**各解答欄に二つ以上マークした場合は誤り**とします。
- 2 「解答番号は 1 。」と表示のある問に対して、**3**と解答する場合には、次の(例1)のように解答番号 1 の解答欄の③にマークしてください。

(例1)

解答 番号	解答欄
1	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

解答上の注意の続きを、問題冊子の裏表紙に記載してあります。問題冊子を裏返して必ず読んでください。



1

次の各問に答えよ。

〔問 1〕 高等学校学習指導要領商業の「各科目」の「管理会計」の「目標」に関する記述として適切なものは、次の **1** ～ **4** のうちのどれか。解答番号は **1** 。

- 1** 財務会計について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- 2** 企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
- 3** 会計情報を活用した経営管理の方法の妥当性と課題を見いだし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。
- 4** 原価計算、原価計算に関する会計処理及び原価情報の活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

〔問 2〕 次の空港での税関審査における英語によるやりとりに関する記述として最も適切なものは、下の 1～4 のうちではどれか。なお、C.O.は税関審査官を表すものとする。解答番号は 。

C.O. : Do you have anything to declare?

Kumi : No, I don't.

C.O. : What is in your suitcase?

Kumi : Clothes and private items.

C.O. : Please open your suitcase and show me the contents.

Kumi : Sure.

C.O. : What's this?

Kumi : It's headache medicine.

C.O. : Do you have any other bags?

Kumi : No, that's all.

C.O. : Okay, thank you. I hope you enjoy your stay.

Kumi : Thank you.

- 1 クミは、スーツケース以外にリュックサックを所持していた。
- 2 クミのスーツケースには、申告が必要なものは何も入っていなかった。
- 3 クミは、税関審査官に頭痛薬を持ち込むことはできないと言われた。
- 4 クミは、税関審査官にスーツケースを開けて中身を見せるように言われ、断った。

〔問 3〕 A品を 8 mにつき ¥6,000で160m仕入れ、仕入諸掛 ¥18,000を支払った。このときの仕入原価として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 ¥102,000
- 2 ¥120,000
- 3 ¥138,000
- 4 ¥156,000

〔問 4〕 層化抽出法に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 無作為抽出法を何回かくり返して行う方法のことである。
- 2 母集団に一連の番号をつけて、乱数表などにより標本を抽出する方法のことである。
- 3 母集団をいくつかのグループに分け、各グループの割合に応じて無作為に標本を抽出する方法のことである。
- 4 抽出率によって間隔を決め、はじめの標本を無作為に選び、あとの標本を一定間隔で決めていく方法のことである。

〔問 5〕 価格政策における価格の種類に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 市場浸透価格とは、市場導入時に、販売量を伸ばし、市場シェアを拡大することを目指して高く設定される価格のことである。
- 2 抱き合わせ価格とは、市場導入時に、いち早く利益を回収することを目指して高く設定される価格のことである。
- 3 キャプティブ価格とは、同時に使用する商品のうち、どちらか一方の価格を安く、または無料で設定することで消費者をひきつけ、もう一方の商品の販売で利益が出るように設定される価格のことである。
- 4 上澄吸収価格とは、複数の製品やサービスを組み合わせて販売する場合の価格のことである。

〔問 6〕 物的担保に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 法定担保物権とは、当事者の契約によって生じる物的担保であり、例として抵当権や質権がある。
- 2 約定担保物権とは、法律の規定によって当然に認められる物的担保であり、例として留置権や先取特権がある。
- 3 譲渡担保とは、債務者が債務を返済できない場合に、債権者が担保として設定された目的物の所有権を取得できるように、事前に仮登記を行う方法である。
- 4 所有権留保とは、商品売買をする際、買い主が代金の全額を支払うまで、その商品の所有権を売り主に留保しておくことで代金債権を担保する方法である。

〔問 7〕 次の資料から求めた法人税申告のための所得金額として適切なものは、下の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 7。

資 料

(1) 確定した決算における当期利益	¥ 420,000
(2) 税務調整項目	
① 益金の額に算入しない受取配当金	¥ 30,000
② 償却限度額を超える減価償却費	¥ 120,000
③ 繰入限度額を超える貸倒引当金繰入	¥ 15,000
④ 損金に算入できない交際費	¥ 55,000
⑤ 納税充当金から支出した事業税	¥ 90,000

- 1 ¥350,000
- 2 ¥380,000
- 3 ¥490,000
- 4 ¥550,000

〔問 8〕 取引と仕訳に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は

8

 。

- 1 B 商店は、C 商店に ¥150,000 の商品を売り渡し、代金は同店振り出しの小切手で受け取った。なお、発送費 ¥1,200 は現金で支払った。

(借方)	現	金	150,000	(貸方)	売	上	148,800	
					発	送	費	1,200

- 2 D 商店は、¥400,000 の商品をクレジットカード払いの条件で売り渡した。なお、信販会社への手数料は売上代金の 2 % であり、商品を売り渡したときに計上した。

(借方)	クレジット売掛金	392,000	(貸方)	売	上	400,000
	支払手数料	8,000				

- 3 E 商店は、得意先 F 商店から ¥250,000 が当座預金に振り込まれたが、その内容が不明である。

(借方)	当	座	預	金	250,000	(貸方)	前	受	金	250,000
------	---	---	---	---	---------	------	---	---	---	---------

- 4 決算にあたり、売買目的で保有している、1 株の帳簿価額が ¥60,000 の G 商事株式会社の株式 25 株について、時価が 1 株につき ¥53,000 に下落したので評価替えした。

(借方)	有価証券評価損	7,000	(貸方)	有	価	証	券	7,000
------	---------	-------	------	---	---	---	---	-------

〔問 9〕 次の資料は、1月26日に作成された略式の伝票と、略式の伝票から作成した仕訳集計表である。空欄 **ア** に当てはまる金額〔円〕として適切なものは、下の1～4のうちのどれか。なお、作問の都合上、空欄としている部分がある。解答番号は **9**。

資 料

入金伝票		出金伝票	
1月26日		1月26日	
売掛金	300,000	買掛金	180,000
売 上	250,000	仕 入	220,000

振替伝票 (借方)		振替伝票 (貸方)	
1月26日		1月26日	
売掛金	800,000	売 上	800,000
売 上	70,000	売掛金	70,000

仕 訳 集 計 表
令和8年1月26日

借 方	元丁	勘 定 科 目	元丁	貸 方
550,000		現 金		400,000
()		売 掛 金		()
180,000		買 掛 金		
()		売 上		()
220,000		仕 入		
()				(ア)

- 1 840,000
- 2 1,270,000
- 3 1,820,000
- 4 2,250,000

余 白

〔問10〕 次の資料は、H商店（個人企業 決算年1回 12月31日）の決算整理事項である。資料にもとづいて作成される下の8桁精算表のうち、当期純利益の金額〔円〕として適切なものは、次のページの1～4のうちのどれか。解答番号は 10。

資 料

決算整理事項

ア 期末商品棚卸高 ￥500,000

イ 貸倒見積高 売掛金残高の3%とする。ただし、差額を計上する方法によること。

ウ 備品減価償却高 ￥60,000（直接法で記帳する。）

エ 現金過不足勘定の￥85,000（貸方残高）は雑益とする。

オ 引出金勘定の￥200,000は整理する。

精 算 表

令和7年12月31日

勘定科目	残高試算表		整理記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	2,000,000							
当座預金	2,500,000							
売掛金	2,000,000							
貸倒引当金		10,000						
繰越商品	800,000							
備品	300,000							
買掛金		1,200,000						
資本金		3,000,000						
引出金	200,000							
売上		6,500,000						
受取手数料		30,000						
仕入	2,000,000							
給料	850,000							
支払家賃	150,000							
雑費	25,000							
現金過不足		85,000						
	10,825,000	10,825,000						
貸倒引当金繰入								
減価償却費								
雑益								
当期純利益								

- 1 3,180,000
- 2 3,435,000
- 3 4,060,000
- 4 6,615,000

〔問11〕 次の資料は、標準原価計算を採用している I 製作所の J 製品の標準原価カードと、当月の生産データをまとめたものである。このとき、当月投入量に対する標準原価として適切なものは、下の 1～4 のうちのどれか。ただし、直接材料は製造着手のときにすべて投入されるものとする。解答番号は 11。

資 料

① 標準原価カード

J 製品			
<u>標準原価カード</u>			
	<u>標準単価</u>	<u>標準消費数量</u>	<u>金額</u>
直接材料費	¥150	10kg	¥1,500
	<u>標準賃率</u>	<u>標準直接作業時間</u>	
直接労務費	¥1,250	2時間	¥2,500
	<u>標準配賦率</u>	<u>標準直接作業時間</u>	
製造間接費	¥1,500	2時間	<u>¥3,000</u>
製品1個あたりの標準原価			<u><u>¥7,000</u></u>

② 生産データ

月初仕掛品	400個（加工進捗度30%）
当月投入	<u>600個</u>
合計	1,000個
月末仕掛品	<u>200個</u> （加工進捗度50%）
完成品	<u><u>800個</u></u>

- 1 ¥4,470,000
- 2 ¥5,190,000
- 3 ¥6,010,000
- 4 ¥6,730,000

〔問12〕 次の資料は、直接原価計算を採用しているK製作所の損益計算書である。このとき、K製作所の目標営業利益850,000円を達成するために必要な売上高として適切なものは、下の1～4のうちのどれか。解答番号は 12 。

資 料

K製作所	損 益 計 算 書	(単位：円)
I 売 上 高	2,000,000	
II 変 動 費	<u>1,500,000</u>	
貢 献 利 益	500,000	
III 固 定 費	<u>380,000</u>	
営 業 利 益	<u><u>120,000</u></u>	

- 1 1,880,000円
- 2 3,400,000円
- 3 4,920,000円
- 4 20,500,000円

[問13] 次の資料によって作成される損益計算書のうち、空欄 ア に当てはまるものとして適切なものは、下の **1**～**4** のうちのどれか。なお、作問の都合上、空欄としている部分がある。解答番号は 13。

資 料

ア 期首商品棚卸高は8,000円、当期商品仕入高は90,000円、売上高は110,000円であった。

イ 期末商品については、次のとおりである。

帳簿棚卸数量 90個 原 価 @60円

実地棚卸数量 80個 正味売却価額 @55円

ただし、棚卸減耗損と商品評価損は売上原価の内訳科目とする。

損 益 計 算 書

令和7年1月1日から令和7年12月31日まで (単位：円)

I 売 上 高		110,000
II 売 上 原 価		
1. 期首商品棚卸高	8,000	
2. 当期商品仕入高	<u>90,000</u>	
計	98,000	
3. 期末商品棚卸高	<u>5,400</u>	
差 引	92,600	
4. 棚 卸 減 耗 損	()	
5. 商 品 評 価 損	<u>()</u>	<u>()</u>
売上総利益		(ア)

- 1** 16,350
- 2** 16,400
- 3** 16,950
- 4** 18,400

〔問14〕 L社はM社の発行する株式の85%を50,000千円で取得し、M社を子会社とした。なお、支配獲得日（令和8年7月1日）におけるL社及びM社の個別貸借対照表は次のとおりであり、同日におけるM社の土地の時価は20,000千円で、それ以外の資産・負債の帳簿価額と時価は同一とする。このとき、連結貸借対照表の空欄 **ア** に当てはまる金額〔千円〕として適切なものは、下の1～4のうちのどれか。なお、作問の都合上、空欄としている部分がある。解答番号は **14** 。

貸借対照表				貸借対照表			
L社	令和8年7月1日	(単位:千円)		M社	令和8年7月1日	(単位:千円)	
現金預金	60,000	買掛金	12,000	現金預金	22,000	買掛金	10,000
売掛金	24,000	資本金	85,000	売掛金	12,000	資本金	30,000
商品	8,000	資本剰余金	70,000	商品	4,000	資本剰余金	9,000
土地	33,000	利益剰余金	8,000	土地	15,000	利益剰余金	4,000
子会社株式	50,000				53,000		53,000
	175,000		175,000				

連結貸借対照表			
L社	令和8年7月1日	(単位:千円)	
現金預金	82,000	買掛金	22,000
売掛金	36,000	資本金	85,000
商品	12,000	資本剰余金	70,000
土地	53,000	利益剰余金	8,000
のれん	()	非支配株主持分	()
	()		(ア)

- 1 190,700
- 2 191,450
- 3 192,200
- 4 192,950

〔問15〕 2進数の1101を10進数に変換した数値として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 15。

- 1 11
- 2 13
- 3 26
- 4 55

〔問16〕 レジスタに関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 16。

- 1 ベースレジスタは、次に実行する命令のアドレスを保持する。
- 2 インデックスレジスタは、主記憶装置上に連続して記憶された複数のデータを順番にアクセスする際に用いるインデックス値を保持する。
- 3 アキュムレータは、プログラム格納場所の先頭アドレスを保持する。
- 4 プログラムカウンタは、演算結果を保持する。

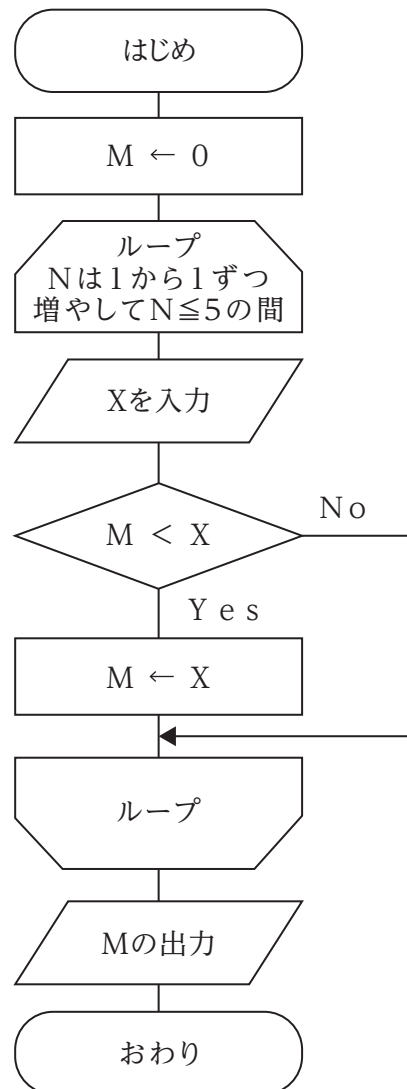
[問17] 次の記述は、HTMLで記述されたファイルの一部を示したものである。記述中の下線
ア～エに関する記述として適切なものは、下の1～4のうちのどれか。解答番号は
17。

```
<!DOCTYPE html>
<html lang="ja">
<head>
<meta charset="UTF-8">
<title> (株) ○○○○</title>
</head>
<body>
  ア<h1>会社案内</h1>
  <p><u><イ><a href="https://aa.co.jp">公式サイト</a></u></p>
  <h2>沿革</h2>
  <u><ウ><ul><li>2014年 創業</li><li>2015年 Web公開</li></ul></u>
  <h2>事業内容</h2>
  <u><エ><table><tr><td>企画</td><td>製造</td><td>販売</td></tr></table></u>
</body>
</html>
```

- 1 アは、ブラウザのタブや検索結果に表示されるサイト名を「会社案内」と定義する。
- 2 イは、「公式サイト」という文字列にリンクを設定し、「https://aa.co.jp」にアクセスできるようにする。
- 3 ウは、「2014年 創業」と「2015年 Web公開」の各項目を要素とする、番号を付けた順序を伴うリストを作る。
- 4 エは、「企画」、「製造」、「販売」の各項目を要素とする、行や列といった区切りをもたない、レイアウト用の単純なブロック領域を生成する。

〔問18〕 次の流れ図においてXに3、9、2、5、6の順に値を入力したとき、出力されるMの値として適切なものは、下の1～4のうちのどれか。解答番号は 18。

流れ図



- 1 2
- 2 3
- 3 6
- 4 9

〔問19〕 次の編集画面は、生徒が授業で作成した、あるマクロ言語によるプログラムを示したものである。このプログラムを実行したときに出力されるものとして適切なものは、下の1～4のうちのどれか。ただし、編集画面の一番左に表示してある数字は行番号である。解答番号は 19。

編集画面

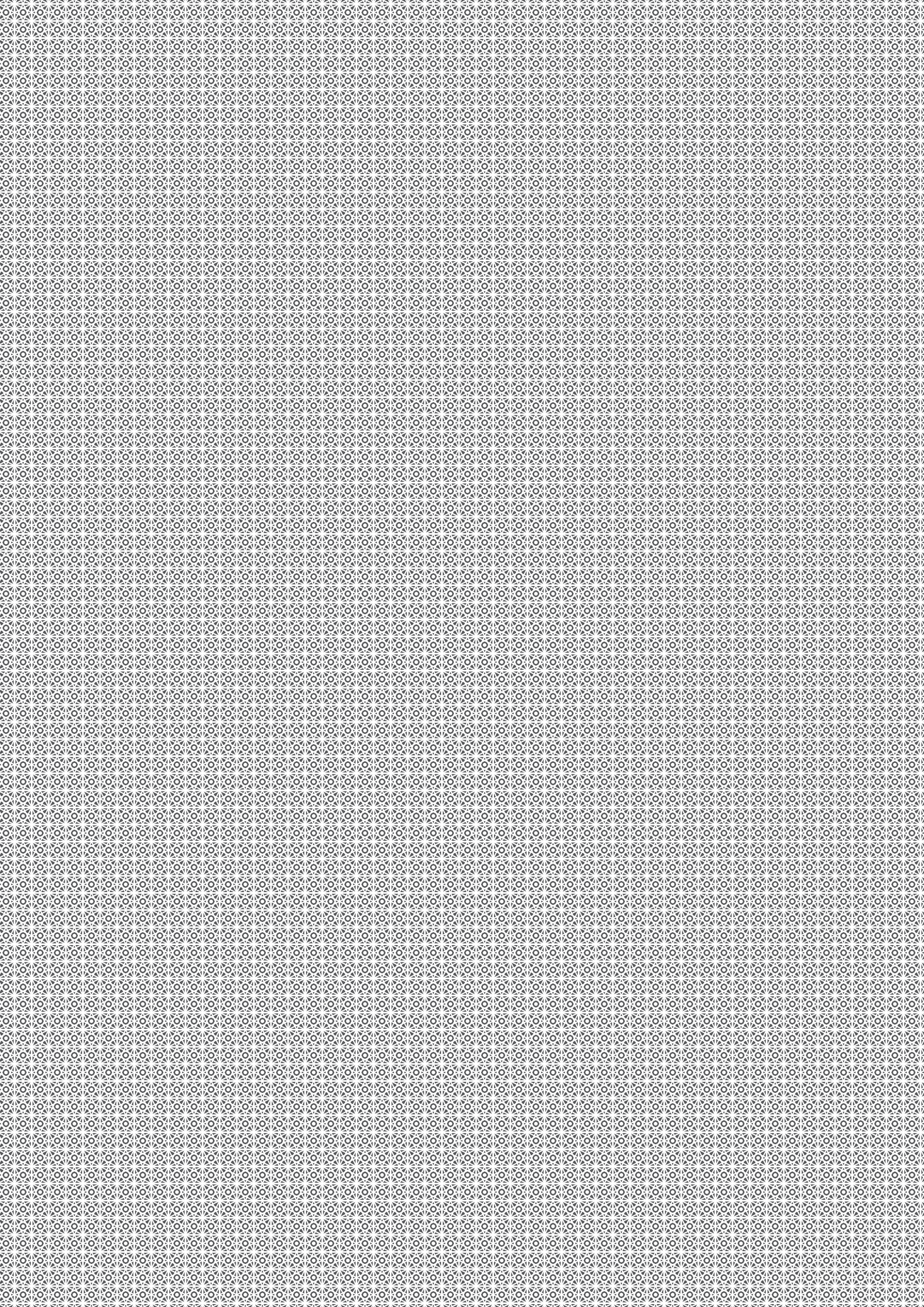
1	Sub fn_01()
2	Dim Mei(3) As String
3	Dim Suu(3) As Integer
4	Dim WorkM As String
5	Dim WorkS As Integer
6	Dim i, j, m As Integer
7	Mei(0) = "ローストビーフ": Mei(1) = "明太子"
8	Mei(2) = "ベーコン": Mei(3) = "クラフトビール"
9	Suu(0) = 385: Suu(1) = 137: Suu(2) = 536: Suu(3) = 489
10	For i = 0 To 2
11	m = i
12	For j = i + 1 To 3
13	If Suu(m) < Suu(j) Then
14	m = j
15	End If
16	Next j
17	If m <> i Then
18	WorkS = Suu(m)
19	Suu(m) = Suu(i)
20	Suu(i) = WorkS
21	WorkM = Mei(m)
22	Mei(m) = Mei(i)
23	Mei(i) = WorkM
24	End If
25	Next i
26	Debug.Print (Mei(0))
27	End Sub
28	

- 1 ローストビーフ
- 2 明太子
- 3 ベーコン
- 4 クラフトビール

〔問20〕 マルウェアに関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は

20。

- 1 スパイウェアは、コンピュータ内のユーザー情報を収集し、送信するソフトウェアであり、キーボード操作を監視するキーロガーはスパイウェアの一種である。
- 2 トロイの木馬は、標的の重要なファイルなどの情報を勝手に暗号化し、情報の持ち主がアクセスできないような状況にするとともに、暗号化の解除と引き換えに金銭の要求を行う。
- 3 ワームは、ギリシャ神話にちなんで名づけられ、有用なソフトウェアであることを装ってインストールを促し、表面上は正常な動作をしているようにみせかけ、裏で情報資産の窃取や遠隔操作などの悪意ある動作を行うマルウェアである。
- 4 ランサムウェアは、単体で悪意ある動作を実行するマルウェアであり、自分で複製を作成し、他のコンピュータに感染する自己増殖機能もある。



3 問題文中の $\boxed{2}$ 、 $\boxed{34}$ などの $\boxed{\quad}$ には、数字又は符号 (－) が入ります。次の(1)～(4)の方法でマークしてください。

(1) $\boxed{2}$ 、 $\boxed{3}$ 、 $\boxed{4}$ 、……の一つ一つは、それぞれ1～9、0の数字又は符号 (－) のいずれか一つに対応します。それらを $\boxed{2}$ 、 $\boxed{3}$ 、 $\boxed{4}$ 、……で示された解答欄にマークしてください。

例えば、 $\boxed{234}$ に -84 と解答する場合には、次の(例2)のようにマークします。

(例2)

解答 番号	解答欄
$\boxed{2}$	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ●
$\boxed{3}$	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ● ⑨ ⑩ ⊖
$\boxed{4}$	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

なお、同一の問題文中に $\boxed{2}$ 、 $\boxed{34}$ などが2度以上現れる場合、原則として、2度目以降は、 $\boxed{2}$ 、 $\boxed{34}$ のように細字で表記します。

(2) 分数形で解答する場合は、符号は分子に付け、分母に付けてはいけません。また、分数は既約分数で答えてください。

例えば、 $\frac{\boxed{56}}{\boxed{7}}$ に $-\frac{4}{5}$ と解答する場合には、 $\frac{-4}{5}$ として、次の(例3)のように

マークします。

(例3)

解答 番号	解答欄
$\boxed{5}$	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ●
$\boxed{6}$	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖
$\boxed{7}$	① ② ③ ④ ● ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

(3) 小数の形で解答する場合は、特に指示されていなければ、指定された桁数の一つ下の桁を四捨五入して答えてください。また、必要に応じて、指定された桁まで⑩にマークしてください。

例えば、 $\boxed{8.910}$ に 2.6 と解答する場合には、 2.60 として答えてください。

(4) 根号を含む形で解答する場合は、根号の中に現れる自然数が最小となる形で答えてください。